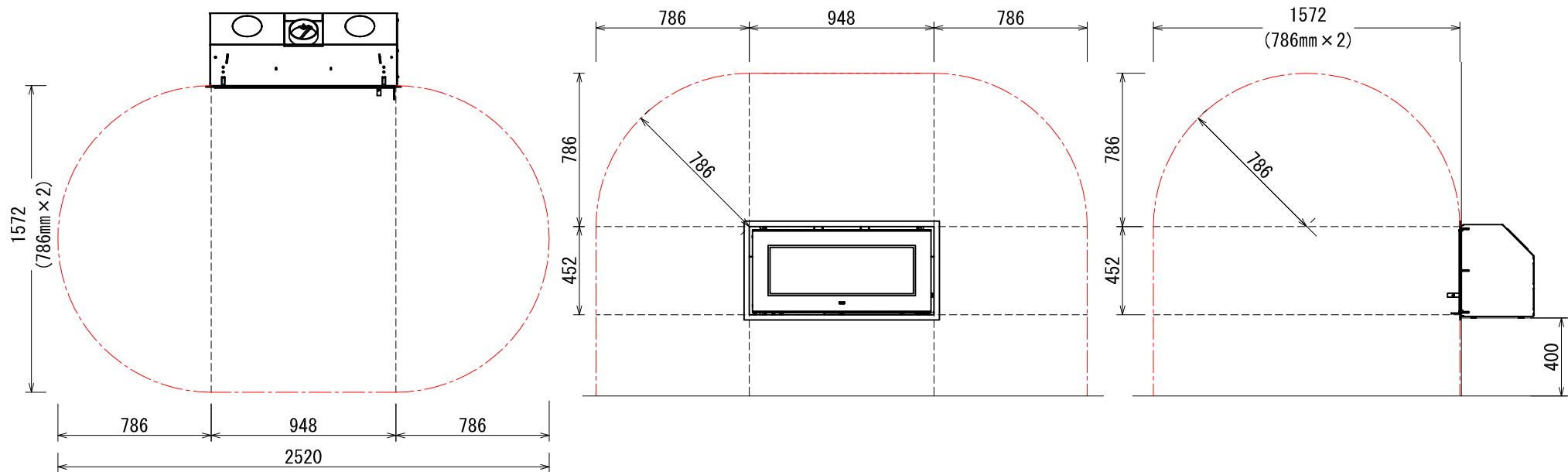


***ストーブ等可燃物燃焼部分**

ストーブの輻射熱・対流熱により燃焼する可能性のある範囲を表す。
 範囲内の下地及び仕上げは、特定不燃材料で仕上げること。
 範囲外の下地及び仕上げは、難燃材料で仕上げること。



RS911:RAIS900 内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱寸法と離隔距離一覧					
Av	Ls				
428,496mm ²	786mm				

Av=暖炉開口部面積 Ls=暖炉可燃物燃焼基準距離

図面名	RAIS900 内装制限告示内容に 基づく設置図面
縮尺	1/30
ダッチウエストジャパン株式会社	

内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱壁寸法と離隔距離計算表

機種	RS-911 : RAIS900 ▼	最大熱出力/時間	7,700 Kcal/h 9.0 Kw
		最大熱出力/ 秒	2.14 Kcal/s

Av : 暖炉開口部面積

$$Av \text{ (開口部面積)} = 948 \times 452 = 428,496 \text{ mm}^2$$

※壁付暖炉の条件として、W=1000mm以内H=750mm以内とする

Ls : 暖炉可燃物燃焼基準距離

$$Ls1 \text{ (開口部)} = 1.2 \times \sqrt{Av(\text{開口部面積})} \doteq 786 \text{ mm}$$

(暖炉開口部がガラス等によって適切に覆われている場合)

$$Ls2 \text{ (開口部)} = 1.58 \times \sqrt{Av(\text{開口部面積})} \doteq 1034 \text{ mm}$$

(暖炉開口部がガラス等によって適切に覆われている場合以外)

発熱量、15,480kcal/s 以下のストーブ